

地域医療に関する定住自立圏構想推進シンポジウムin旭川

当シンポジウムは、定住自立圏域における地域医療の充実を図るため、一定の医療資源が集積し、その広域的な活用が進んでいる旭川市においてシンポジウムを開催し、それを一つの契機として定住自立圏域における地域医療の充実を図ることを目的に行います。

○日時:平成23年10月2日(日)

開場 13:00 開会 13:30 終了 16:30

○会場:旭川ターミナルホテル 6階 慶雲の間

(旭川市宮下通7丁目 TEL:0166-24-0111)

定員:200名 参加費:無料

○プログラム

- ・13:30 開会
 - ・主催者代表挨拶 総務省地域力創造審議官 門山 泰明 氏
 - ・開催地代表挨拶 旭川市長 西川 将人 氏

- ・13:40 基調講演
 - ・テーマ「地域医療に向き合う旭川医科大学の姿勢」
 - ・講師:旭川医科大学 学長 吉田 晃敏 氏

- ・14:35 問題提起・基調報告
 - ・テーマ「我が国の地域医療の現状と課題」
 - ・講師:自治医科大学 教授 梶井 英治 氏

- ・15:30 パネルディスカッション
 - ・テーマ「上川中部圏域における地域医療の展開」
 - ・コーディネーター:自治医科大学 教授 梶井 英治 氏
 - ・パネリスト:旭川市長 西川 将人 氏
延岡市長 首藤 正治 氏
上川町長 佐藤 芳治 氏
旭川市医師会 会長 山下 裕久 氏
旭川赤十字病院 院長 後藤 聡 氏

- ・16:30 終了

- 主催 総務省
- 共催 学校法人自治医科大学、北海道、旭川市
- 後援 国立大学法人旭川医科大学、社団法人旭川市医師会

○お問い合わせ先

・旭川市総合政策部政策調整課(TEL:0166-25-5358)

○講師

■国立大学法人旭川医科大学 学長 吉田 晃敏 氏



1952年北海道生まれ。1992年旭川医科大学眼科教授。2007年旭川医科大学学長。専門は眼科学。2009年総務大臣表彰(個人賞)、2011年産学官連携功労者文部科学大臣賞を、ソフトバンクBB社長 孫正義氏と共に受賞。地域医療から国際医療まで、切れ目のない医療支援を目指している。著書に「格差なき医療」(講談社)等。

■学校法人自治医科大学 教授 梶井 英治 氏



1978年自治医科大学卒業、県医務課技術吏員。鳥取県立中央病院にて研修の後、町立日南病院、町立智頭病院に勤務。その後、母校に帰り、1998年地域医療学教授、2000年総合診療部部長、2004年地域医療学センター地域医療学部門教授、2008年同センター長となり、現在、総合医の育成、そして地域医療に関わる研究活動に従事しながら、地域医療の充実へ向けて、地域における啓発活動に取り組んでいる。

○パネリスト

■旭川市長 西川 将人 氏



1968年北海道旭川市生まれ。1993年北海道大学工学部を卒業し、日本航空株式会社入社。1999年同社退社。2003年から2006年まで医療法人社団理事。2006年11月より現職。(現在2期目)

■延岡市長 首藤 正治 氏



1956年宮崎県延岡市生まれ。1979年京都大学工学部物理工学科卒業後、同年小西六写真工業(株)(現コニカミノルタ)入社。1983年同社退社。1983年(株)スドー入社。1993年同社代表取締役役に就任。2006年同社退社。2006年2月より現職。(現在2期目)

■上川町長 佐藤 芳治 氏



1949年北海道遠軽町生まれ。北海道遠軽高等学校を卒業後、1967年4月上川町役場に就職。1995年より税務課長・商工観光課長・議会事務局長を経て、2000年より上川町助役・副町長。2008年より現職。(現在1期目)

■社団法人旭川市医師会 会長 山下 裕久 氏



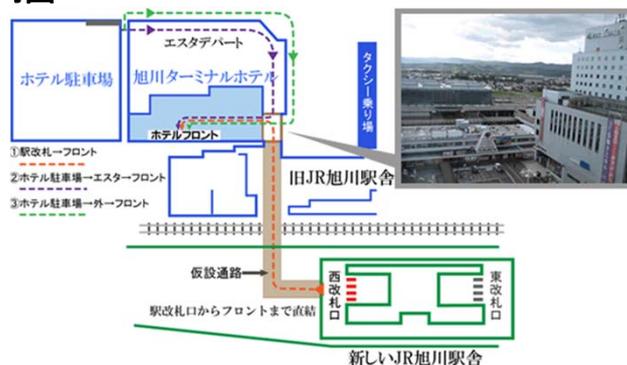
1945年北海道生まれ。1970年北海道大学医学部を卒業。1971年北大第一内科入局。国立小樽療養所勤務を経て、1974年旭川医科大学第一内科助手として故郷旭川に戻る。1982年医学博士号取得。旭川医科大学第一内科講師、助教授を務め、1997年山下内科・循環器科クリニックを開業。2001年旭川市医師会理事に就任し、副会長を経て、2011年4月から現職。

■旭川赤十字病院 院長 後藤 聡 氏



1941年札幌市生まれ、北海道大学医学部卒、1970年同大学院中退後、脳神経外科医として旭川赤十字病院に勤務、1994年副院長、1999年から2002年まで救命救急センター長を務め、2003年から病院長、日本赤十字社病院長連盟北海道ブロック会代表、医療機能評価機構評価調査者。

○会場案内図



旭川ターミナルホテル
旭川市宮下通7丁目
○アクセス
・JR旭川駅直結
・駐車場有(有料)